

日野稲門会報

第12号

＊
日野稲門会
事務局
＊

窪井方
日野市多摩平
6-13-52
☎042-585-1953



ご挨拶

日野稲門会会長

森田 治夫

会員の皆さまにはご健勝でお過ごしのことと存じます。

昨年の総会は、9月9日、42名の方々のご参加を得て開催されました。

平成12年度事業報告、会計報告のあと、13年度事業計画、予算を承認いただきました。

次いで、役員選出をお諮りしました。副会長の有山董さんが京都に転任、同じく小笠原豊さんがタイへ赴任されましたので、新たに嶋田富次さん、祖母井美章さんの副会長就任が承認されました。

また会員増を図る取り組みとして、60歳以上の校友の方67名に、入会の要請をし、そのうち7名の方が、新たに会員になられたことを報告いたしました。

総会のあとの講演では、当会会員の高橋延匡先生に、「IT革命で、

暮らしはどう変わるか」というテーマでお話をいただきました。

(講演要旨が、本紙4面に掲載) そのあと、懇親会に移り、談笑のうちに散会いたしました。

総会開催の時期につきましては、12年度を12月3日、13年度を9月9日と、順次繰り上げてまいりました。

今年、下記にお知らせしましたとおり、6月23日に開催を予定しております。当日は、会員の山内兄人先生に講演をお願いしております。

また、今年には役員改選の年でもあり、事業計画とともに、現在幹事会にて審議中であります。これからの新たな活動につきましては、総会において、皆さまのご意見をお伺いしたいと存じます。ぜひ多数のご参加をお待ちしております。

第23回 総会・懇親会のご案内

【第一部】総会
日時 平成14年6月23日(日)
午後2時30分より
受付 2時より
会場 日野市勤労・青年会館
(JR豊田駅北口、ファミ
1ニ京王裏・地図参照)
☎586・6251

議題
①平成13年度事業報告
会計報告
②平成14年度事業計画
予算
③役員選任
会費 6千円
【第二部】講演
(3時10分より)
演題 「女の脳、男の脳と
その活性化」

講師プロフィール

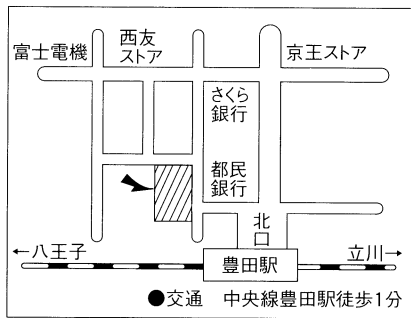


山内 兄人先生

やまのうち・これひと 昭和46年、早大教育学部理学科卒業後、国立がんセンター研究所研修生。翌年、順天堂大学医学部第一解剖学教室助手。昭和55年、医学博士。平成4年より早大人間科学部教授、現在、人間総合研究センター所長も兼務。

講師 山内 兄人
早稲田大学人間科学部
教授・日野稲門会会員
(46・教・理)

【第三部】懇親会
(4時30分より)
会場 杏花飯店
(JR豊田駅北口、ファミ
1ニ京王3F)
☎586・2070



矢印が日野市・勤労青年会館

●総会出欠はがきは、6月10日までにお出しください。

《日野稲門会現役員》

会長	26	森田 治夫
副会長	30	嶋田 富次
監査	30	木村 三郎
事務局補佐	34	祖母井 美章
事務局	30	嶋崎 巖
幹事	35	石坂 松男
幹事	33	山内 治男
幹事	37	窪井 勝典
幹事	40	阪本 昭夫
幹事	38	下重 光正
幹事	41	山口 隆久
幹事	61	土肥 一郎

収入の部	平成13年度収支計算書 (13.4.1~14.3.31)		平成14年度収支予算書 (14.4.1~15.3.31)	
	金額	摘要	金額	摘要
前年度繰越金	256,738		341,139	
会費	268,000		250,000	
受取利息	40		0	
寄付金	3,000	久保田友治氏	0	
組織強化補助費	112,000	早稲田大学	110,000	早稲田大学
総会会費	240,000		240,000	
計	879,778		941,139	
支出の部				
文化活動費	62,157	芋掘り、囲碁、ハイク他	80,000	芋掘り、囲碁、ゴルフ、ハイク他
会報発行費	39,900	第11号	50,000	第12号
名簿関係費	0		0	
通信費	47,855		50,000	
旅費交通費	10,170		15,000	
会議費	13,730		20,000	
諸会費	78,000		100,000	
事務用品費	18,807		25,000	
支払手数料	11,020		10,000	
雑費	10,000		10,000	
総会費	247,000		240,000	
次年度繰越金	341,139	名簿発行費積立金	341,139	名簿発行費積立金
計	879,778		941,139	

同好会だより

オール早稲田囲碁祭3位

日野・国立稲石会大会では優勝



囲碁同好会

(日野稲石会)

一、オール早稲田囲碁祭

平成13年9月30日、日本棋院において、《囲碁祭》が開催された。首都圏より32チーム、約2百人が参加。32チームをA～Dの4クラスに分け、各クラス8チームで競技が行われた。

わが日野は、6名でチームを編成し、Bクラス3位入賞を果たした。

二、日野・国立稲石会大会

平成13年11月18日、国立東防炎会館において大会を開催。当日は、調布、府中稲門会からも参加を得、盛大な大会となった。

段位により、A～Dの4クラスに分け、熱戦を繰り広げた結果、日野は、全クラスで優勝した。



《囲碁祭》で3位入賞を果たした棋士たち

三、月例会

毎月第3土曜日に日野勤労青年会館において、午後1時より例会を開催していますので、奮ってご参加ください。

会長 嶋田 富次
副会長 三浦 永訓

の参加者が腕を競い合った。各選手は、とてつもなく速いグ

リンに悩みながらプレーをした。その結果、優勝は佐野輝男、準優勝は酒井丈夫、3位は山内良子の各氏が獲得した。

この後、ゴルフ談義が大いに盛り上がるなか、午後7時、日野に帰着、散会した。

次回は、5月24日に、群馬県水上高原ゴルフ場で開催する予定。

【連絡先】 大谷 一夫

山内 治男

電話(581) 3366

石川 貞三 (581) 0654
木村 三郎 (583) 3563
祖母井美章 (581) 0814

【連絡先】

楽しいひと時を味わいませんか。

ハイキング

同好会

第13回ハイキング会は昨年8月4日、盛夏の候、天狗滝・綾滝から馬頭刈尾根の富士見台を経て大岳大滝へ下る、納涼滝見コース。(参加者8名)

第14回は昨年11月25日、晩秋の暖かい日差しのおかげ、花折戸尾根から本仁田山へ。(参加者9名)

第15回は今年2月24日、春の芽生えを感じさせるなか、大垂水峠から大洞山を経て、南高尾山稜を三沢峠まで。(参加者10名)

下山後の反省会も、毎回たいへん盛り上がりがあります。みなさまも、いい汗をかき、リフレッシュして、楽しいひと時を味わいませんか。

バードウォッチング

同好会

第1回のバードウォッチング会は、昨年11月11日、絶好の秋晴れの下、16名が参加して行われた。



電話(591) 7503

下重 光正

【連絡先】 高尾山で開催予定。

次回は7月14日に

どが観察できたことはラッキーであった。

確認することができた。カワセミをはじめ、ヒドリガモ、ハマシギの群れなどが観察できたこと

が観察できたこと

が観察できたこと

が観察できたこと

が観察できたこと

が観察できたこと

が観察できたこと

が観察できたこと

が観察できたこと

が観察できたこと

が観察できたこと

が観察できたこと

が観察できたこと

が観察できたこと

が観察できたこと

が観察できたこと

芋掘り会行われる!

第3回《芋掘り会》は、昨年11月4日、日野市役所職員駐車場横の畑で行われた。当日は、秋晴れの下、40名の参加者があった。

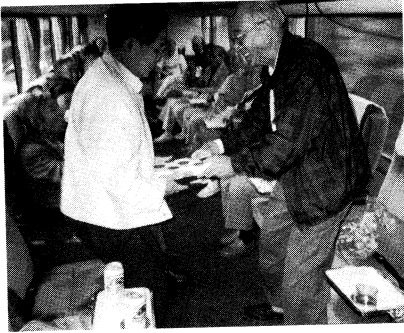
10時から約1時間、孫と一緒に芋掘りを楽しんだ。大きな芋を掘り出すたびにあちこちで歓声が上がった。袋いっぱい収穫に、参加した家族は大喜びだった。次回も11月に開催予定。

ゴルフ同好会

第8回ゴルフコンペは、昨年の10月3日、秋晴れの山梨県丘の公園清里ゴルフコースで行われた。

朝6時にサロンバスで日野を出発。中央自動車道を約2時間走り、眼前に八ヶ岳連峰が姿を現わすと、ほどなくコースに到着した。

ただちに、女性2名を含む20名



優勝賞品は、佐野さん(左)の手に



本仁田山の山頂で記念撮影

■会員だより

ゴルフと

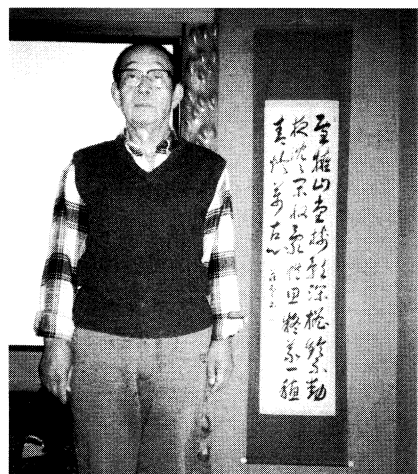
書道と詩吟

(26・土)今川 慶二

長い間の会社勤めが終わり、これからあり余った時間をどう使っていくたら良いものか、だれでも考えることです。

私の場合は、日ごろから割合に好奇心が強かったことと、以前から、ぜひとも挑戦してみたいと思っていたものがありましたので、すんなりと、そのことに突っ込んで行かれました。

ゴルフについては、自分の好みに合っているようで、うん十年の歴史があり、自慢のひとつです。しかし腕前の方はさっぱりで、何とかならんかと、現在練習場へせ



自分の作品と並んでハイポーズ

も「低音の魅力」は、なかなか良いとの話に気を良くし、現在もあきることなく、発声の練習には、浅川の堤防でうなっています。詩吟大会等のセレモニーが近づくこと、その本命である「詩の意を解し、その気分となっ

つせと通っています。

書道については、通信教育で諸先生の添削指導を受け、だんだんと上級へと進むわけですが、何年か続けるうちにマンネリ化によって、ひとつの壁にぶち当たり悩んだりしました。

そんな時に、「継続は力なり」とか、指導部の激励により、現在まで十年続けることが出来ました。書の醍醐味は、何と言っても、筆を洗ったあとの爽快な気分と充実感にあると言えるでしょう。

詩吟については当初、発声の音程が高音でないといけないと思っておりました。私のような低音ではいかなものか迷っていましたところ、好運にもその道の大先生にめぐり合うことが出来ました。早速に聞きましたところ、詩吟で

て吟ずる」よう指導を受けますが、なかなかそこまで行かないのが現状です。

趣味など好きなことをやるのに年齢がないと言われていますが、まさにそのとおりだと、このごろ実感しています。

野菜作り

奮闘記

(44・経)一ノ瀬正彰

お袋の畑仕事の手伝いをして、今年で3年目になります。近ごろでは、お袋の体力の衰えもあって、自分が進んで畑で野菜作りをやるようになりました。

今耕している畑は、かつて田圃だった所に、多摩ニュータウンの造成工事から出た山土(おもに赤土)を土盛りして出来た畑。そのため土に癖がない反面、水持ちが悪く、夏場は土がパサパサになってしまいます。

昨年の夏は、日照りに強いカボチャやサツマイモの葉が一部枯れるほど、土が乾いてしまいました。ところが、こんな夏を過ごして秋も深まったころ、なんと、ジャガイモの収穫は、例年にも増しての豊作でした。「なんだこのジャガイモ、でかいな。普通の4倍もあるよ。」

と言って、お袋と思わず顔を見合わせてしまうほどだったのです。今の畑仕事の目標は、2つあります。それは年間を通して、兄弟3軒分の葉物野菜の提供と、カレーの具(ジャガイモ、ニンジン、タマネギ)を提供することです。

今後いちばん工夫を求められるのが、「夏場の葉物野菜」の提供です。なにしろ土の乾きが厳しいために、まともに作付けしたのでは、物にならない確率が高すぎるのです。少しでも水持ちをよくするには、土に保水力をつけること

です。それには、乾きでパサパサになってしまいう赤土メインの畑に、堆肥を入れる土作りが必要です。次にクリアしなければならぬ課題は、タマネギの苗作りです。どうしても冬場の寒さにやられやすく、春を迎えてからの生育が遅れ、結果としてタマネギの球が小さくなってしまいます。

今年でタマネギチャレンジは、3年目。そろそろまともな苗が作れるように工夫したいのです。いずれにしても、専業農家なみの野菜作りができるようになりたいと思っています。畑仕事をしながら、熟したトマトをガブリ。どの渴きもあつてか、実においしい。これがあるので、当分野菜作りはやめられません。

事務局から

◆ 今後の行事予定

- 5月24日 春のゴルフ大会 (水上高原ゴルフ場)
 - 6月9日 ハイキング同好会
 - 6月23日 第23回総会・懇親会
 - 7月14日 第2回バードウォッチング同好会
 - 9月27日 秋のゴルフ大会
 - 10月 ハイキング同好会
 - 11月 第4回芋掘り会
- 囲碁同好会の例会は、毎月第3土曜日開催

◆ 会員の動き

《新入会員》

- 佐々木市郎 25高工機械
- 嶋津 忠廣 37二建
- 中根 久雄 32一理
- 英 武 34一商
- 英 稔 平2経
- 真砂 太郎 56一政
- 水野 清次 26高工機械
- 羽場 左近 平3社学

《退会会員》

- 片江 好巳 転居
- 川上 幸仁 都合により
- 小林 忠雄 転居
- 小松 陽子 転居
- 沢田 光男 都合により
- 杉田 実 転居
- 遠山武羅夫 都合により
- 山口 敬二 都合により

◆ 会費納入のお願い

会費の納入が未払いの方は、お支払いをお願いいたします。

◆ ネットワークとコンピュータ

IT革命で、暮らしはどう変わるかということの本質は、ネットワークとコンピュータが必需品となる時代になったということです。これからは、人間がやってきた

ルーティンワーク的な頭脳労働は、コンピュータに取って代わられます。なぜなら、コンピュータは正確ですし、ストライキもしません。記憶力は、人間よりはるかにすぐれています。だから、本質はデジタル処理で、デジタル処理をしたものは忘れないし、まちがえないということなのです。

一方、人間の得意技はアナログ処理です。これは人間のほうが、はるかに立派です。

また最近よく言われる「グローバル化」は、まず経済の問題から始まりました。

金融のグローバル化は、ドルの支配力を強力にしたということと既存の産業は、世界規模のゼロサムゲームだということです。

ゼロサムゲームの特徴は、コストの削減競争と魅力的な付加価値の開発競争ということになります。コストの削減競争になると、人を減らすことを考え、リストラをして構成を変えることになり、そして発展途上国に製造業を移動するようになることで、国内空洞化の問題が出てくるわけです。

◆ 日本の得意技は、軽小緻密より小さくより軽く、緻密度高

性能なものが、日本の得意技で、競争に強い。新材料の開発も日本はすぐれています。例えば炭素繊維。アメリカのFBIが着ている防弾チョッキは日本製で、隠れた軍事技術といえます。

また、暮らし方の問題として、アイデンティティの危機というところがあります。

最近の若い人を見てみると、和魂洋才でなくて、洋魂和才、しかも「才」が欠けているように思えてくる。いわゆる価値基準、評価基準の逆転ということです。米国流は、がまんができない短

講演要旨

IT革命で、暮らしはどう変わるか



拓殖大学工学部教授 日野稲門会々員 高橋 延匡

期的思考の世界で、何事も経済優先の社会です。

日本の業界団体は、護送船団方式です。公式的には弱いところ標準を合わせて主張する。ところが懇親会では、逆の主張をする。こういうことが、日本を悪くしているのです。

◆ 21世紀は、何で食べていくか

今、中国が世界の製造業の拠点になりつつあります。この原因は、人件費が安く（日本の20分の1）、解雇が自由にできるといことです。こういう状況ですから、日本の製造業の空洞化は、避けて通れ

ないので。

そうなる日本は、研究と開発で飯が食えるかということです。しかし、この不況で日本の企業は、短期的な視点に変わり、すぐに役に立たないものは研究段階で切り捨てている。

また、日本の大学、特に国立大学は組織が硬直化していて、社会のニーズに対応が難しい。一方、私立大学は研究資金と研究者が不足しています。さらに問題なのは教育レベルの低下傾向が顕著だということです。ここを強化しないと、日本は厳しいでしょう。

日本の戦略は、科学技術立国として、環境、情報通信、ライフサイエンス、ナノテクノロジーなどの分野に重点をおいています。とくに、ナノテクノロジーの分野は、今世界のトップランナーです。ライフサイエンスの分野は、いいところにいるのですが、まだ研究者が足りない。

◆ 情報を扱う産業とサービス業 金融・証券業・保険業などは、大規模のリストラをしないとやっ

ていけません。お金の情報しか動いていない所へ高いコストをかけるわけにはいかないでしょう。次にサービス産業は、付加価値で勝負ということ。商業は、郊外の大型店舗化と効率化とネットワーク化がベースになります。また秋葉原は、米国人にもエキサイティングな場所です。秋葉原のセールスマンは、商品知識が詳しい。あれだけの知識と在庫を持

◆ 高橋延匡先生プロフィール

昭和32年、早大数学科卒業後、日立製作所中央研究所入社。国産コンピュータの研究・開発に従事。昭和52年、東京農工大学工学部教授を経て、平成9年より現職。理学博士。



って売っている所は他国にはない流通業には、規制がいろいろありますが、その中でクロネコヤマトの宅急便は、ヒット商品です。ITを利用したサービス業の中に、セキュリティ産業というのがあります。日本は犯罪が増加していますので、この分野は、これから伸びると思われれます。テクノロジーの方は進んでいて、お札や証券に粉末状のコンピュータを組み

入れ、偽造を防止しようということも考えられています。

◆ 新しい時代に向けて

日本の生きる道は、技術立国以外にないでしょう。つまり環境、高齢化対策、省エネ、生命工学、新材料、マイクロマシン、知能ロボティクス、コンピュータの応用システムなどは、研究開発すれば、まだまだ新しいことがやれます。

また、文化財、歴史の保存など、コンテンツ産業と観光産業をもつとシステイマティックにやっています。新時代に向けて、いつ、どこからでもネットワークサービスとコンピュータを、意識することなしに利用する時代に突入しました。

コンピュータは、善悪の判断はしません。言われた命令のとおりに行いますから、できることから活用していきましょう。それと同時に、21世紀は、「人のネットワークの時代」です。良い情報は、良い人間のネットワークの中でしか存在しなくなるとい時代になると思います。

未来は、明るくも暗くも描けます。それをどう描くかは、個人の問題です。各人が明るい方向に向かってやっていけば良いでしょう。

この記事は、平成13年9月9日の日野稲門会総会で行われた講演より抜粋し、その要旨を編集室にてまとめたものです。